

標題

バハマ籍船舶の救命設備の整備間隔の延長について

ClassNK

テクニカル インフォメーション

No. TEC-0696
発行日 2007年5月15日

各位

今般、バハマ政府より、同国籍船の救命設備の整備間隔の延長に関する指示 (BMA INFORMATION BULLETIN No.98) が通知されました。

膨張式救命いかだ、膨張式救命胴衣、海上脱出装置、膨張式救助艇及び水圧式離脱装置は、12ヶ月を超えない間隔で整備するよう SOLAS 第3章にて要求されており、承認整備業者が不在である場合は、17ヶ月までの延長が認められます。

また、IMO MSC/Cir.955 に従い HSSC 船の年次或いは定期的 SE 検査実施時期(基準日の前後3ヶ月)に整備を行う場合、上記に係わらず整備間隔を前回の整備を行った日から最長18ヶ月まで延長して差し支えないとのことです。

なお、当該延長の可否についてはバハマ政府に代わって弊社による検証を行うよう要求されておりますので、当該延長をご希望の際は、以下の情報と併せて弊社検査技術部にお申込み下さい。延長の妥当性を検討の上、適当と認められた場合は”STATEMENT OF EXTENSION”を発行いたします。

1. 船名
2. 船級番号
3. 延長対象救命設備リスト
4. 前回整備実施日
5. 前回の整備記録或いは証書の写し
6. 延長間隔を含む整備の予定
7. 延長が必要な事情

なお、本件に関してご不明な点は、以下の部署にお問い合わせください。

財団法人 日本海事協会 (ClassNK)
本部 管理センター 検査技術部
住所: 東京都千代田区紀尾井町 4-7 (郵便番号 102-8567)
Tel.: 03-5226-2027 / 2028
Fax: 03-5226-2029
E-mail: svd@classnk.or.jp

NOTES:

- ClassNK テクニカル・インフォメーションは、あくまで最新情報の提供のみを目的として発行しています。
- ClassNK 及びその役員、職員、代理もしくは委託事業者のいずれも、掲載情報の正確性及びその情報の利用あるいは依存により発生する、いかなる損失及び費用についても責任は負いかねます。
- バックナンバーは ClassNK インターネット・ホームページ(URL: www.classnk.or.jp)においてご覧いただけます。